

# 能登町立小木小学校 第1回学校評議員会まとめ

令和4年10月19日(木)

校長室にて

## 【学校評議員からの質問・意見等】

### 不登校・いじめの状況はどうか

- ・完全に学校に来ることができない児童はいないが、休みがちな児童はいる。
- ・児童間のトラブルはある。丁寧な事実確認の後で対応を判断するよう、職員に指導している。

### 保護者の方から、どんな相談があるか

- ・我が子は他の子と比べて学習などにつまずきがあるのか、という相談などがある。場合によっては、保護者も支える必要がある。
- ・相撲大会に地域の人を呼ぶことはできないか、タブレット端末の持ち帰りを毎日できないかなど、さまざまなご意見や相談もある。

### 通学路の安全について

- 道路にはみ出した紅葉の伐採や駐車場横パイプの撤去など、学校は子ども園からお願いした危険箇所への対応をすばやく行ってくれた。  
(通称)「登校坂」の土砂崩れが、1年ほど直っていないが、直せないのだろうか。
- ・土砂崩れ箇所については、町教育委員会事務局に報告し、早く修繕してもらえるように、数回にわたり頼んであるが、まだ、そのままの状態である。新たな崩れもみられるようになり、危険だと感じている。
  - ・通学路途中の民家のブロック塀が崩れそうな状態であることについても、地域の方からご指摘を受け、町教委へ相談した。民家なので何もできないということだったので、塀の反対側を通るなどの安全指導をしている。

### 6年生はどのくらい小木中学校への進学しそうか

- ・今年は、他地域への進学を強く希望している児童は、多くないようである。部活動の関係で、進学先について迷う児童は、毎年いる。

### 外で遊ぶ児童をあまり見かけない

- ・大人がいないと海で遊ぶことができなくなったこともあり、海洋教育では、海での活動を楽しむ活動なども取り入れている。小木に生まれたことを誇りに思っていてほしいと思って、行っている。